図書室だより〈4月〉

町民センター３階

【開室時間】火～金曜日　10：00～20：30
土・日曜日　10：00～17：00
祝日29日　10：00～17：00
【休室日】毎週月曜日・蔵書点検19日～22日
※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの１冊

料理人の光　原宏一（はらこういち）　著

生産者と卸業者、料理人の間を取り持つ食のコーディネーターである主人公のヤッさんは、足立市場で万引きをしていたショータという青年を弟子にする。料理人を目指すショータは未熟なのにプライドだけは一人前で、作る料理は自分の腕を誇示するものばかりだった。ヤッさんは社員寮や料理店の厨房へ彼を送り込み、失敗を経験させ、ときに先輩料理人の考えを学ばせることで鍛え直していく。一人の青年はどんな未来をつかむのか。

新しく購入した図書（主なもの）

●　一　般　書　●

- 失われた地図　恩田陸（おんだりく）
- ビニール傘　岸政彦（きしまさひこ）
- 計画結婚　白河三兎（しらかわみと）
- 柳生三代の鬼謀　鳥羽亮（とばりょう）
- ゼロ・アワー　中山可穂（なかやまかほ）
- 江の島ねこもり食堂　名取佐和子（なとりさわこ）
- そういう生き物　春見朔子（はるみさくこ）

●　児　童　書　●

- あかですよあおですよ　加古里子（かこさとし）
- ぼくの草のなまえ　長尾玲子（ながおれいこ）
- ゆうくんのくまパジャマ　中谷靖彦（なかやすひこ）
- おもちゃのかたづけできるかな　深見春夫（ふかみはるお）
- ともだちのひっこし　宮野聡子（みやのさとこ）

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内　容　「ポロロンギター」を作ります
日　時　４月15日㈯　10:00～
持ち物　はさみ・カラーペン
対　象　５歳～（未就学児は保護者同伴）
場　所　町民センター2階 小会議室Ａ
申込み　直接図書室へ　または、☎ 82-5221

◇おはなし会（第２土曜日、第3水曜日）

日　時　４月８日㈯　13:00～
４月26日㈬　15:00～
場　所　町民センター３階 図書室
申込み　申込みはいりません

毎月１日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月１日を「開成ファミリー読書デー」にしています。

＊文　芸

短　歌　ともしび短歌会　二月詠

スマップは吾もファンなれど時の流れ
止めるすべなし―世の常ならば　石井はま江

スマップのファンは、老若男女を問わず、日本・海外にも大勢いて、解散に衝撃を受けた。作者もその一人で、この件を本歌の如く受け止めたが、「各人の活躍を期待し祈る」との熱望を背景にみる。

満開の桜と電車を映りこむ
堀に浮かぶる花いかだ見ゆ　辻岡　洋子

満開の桜と電車を映り込む堀とは、水道橋駅付近の光景であろうか。そのような場所は、あまり多くない。作者は、そこに浮かぶ花筏のゆったりとした優美な様を、しばらく眺めていたと詠んだ。
※花筏＝散った桜の花びらが帯状に水に浮かんで流れていくのを、筏に見立てていう語。

初春の庭の各所に塩の山
息子が「お清め」と言ふに涙す　杉本シズ子

新年を迎え、作者は、「盛り塩」が庭の各所に置かれているのを見付けた。息子さんから「お袋の無病息災」祈願の由を知り、その心遣いに思わず涙を流したという。親子の情愛の深さを知る歌。

近藤　正臣　選

俳　句　開成俳句会　三月吟

神々の風の撹乱春一番　遠藤美津子

日本人と神様との付き合いは古いご縁で生活的、文化的にも精神生活に深く関わっている事は過言ではない。〈春一番〉は春の代表的季語。立春の後、木々の芽吹きの風でもあるが、迷惑と思った作者は〈神々の悪戯〉かと、これを感覚的に〈神々の風の撹乱〉と大胆に表現したのである。今月の作品は先述を踏まえて一句に仕立てた手柄の佳句です。

新井たか志　選評

春の夜の静寂に悟る日々の幸　波多野すみ枝
朝からの風もおさまり春の夜　濱本　主雄
纏はずに遺品となりし春ショール　足立ふみえ
友よりの株の増えたる福寿草　有賀　孝子
我武者羅な生き様を見し上り鮎　奥津ちわき
夜半の春厨の酒のほろ苦く　下澤　操子
若鮎の力強さを貰いけり　瀬戸　悦子
四万十川の小鮎踊るを今朝知るや　遠藤シヅ子
春一番ゴジラの如き雲走る　遠藤マツエ
若鮎の小さき戦の酒匂川　遠藤まつ子
折紙の雛の在す駐在所　選者吟

あしがらローカルブランディングポスター

ASHIGARA

あしがらローカルブランディングに取り組んでいます！

問　企画政策課　☎84－0312

開成町を含む足柄上地区１市５町では、統一されたコンセプトのもとで「あしがら」エリアをＰＲするため、「あしがらローカルブランディング」に取り組んでいます。

その取組みの一つとして、ＰＲ動画やポスターを作成し、小田急線のトレインビジョンでの動画放映や、小田急線沿線の駅構内へのポスター掲示などのキャンペーンを実施しました。

３月６、８～10日には、新宿駅、経堂駅、本厚木駅で集中キャンペーンを実施し、駅を利用する多くの方に「あしがら」をＰＲしました。

市町の枠を超えて、それぞれの魅力や観光資源をより効果的に発信するため、今後も１市５町で連携して取り組んでいきます。

公開されたPR動画

動画「あしがらで、心まで素足になる」

２人の女性があしがらを訪れ、自然に囲まれてのびのびと解放されていく様子を描いています。この動画は、「足」に着目し、水遊びや芝生を踏みしめる時のアップによって、あしがらで味わえる爽快さや心地よさを表現しています。

動画に登場するアルファベットは、あしがらにちなんだ足の柄の「あしがらシンボルロゴ」です。

かわいい足あと型の「あしがらシンボルロゴ」にもご注目ください。

インターネットから動画がご覧になれます!
http://www.town.oi.kanagawa.jp/ashigarabranding/
（外部サイト）

生き生きレポート

明るい雰囲気の教室

さ行を楽しく練習するすごろく

問　開成小学校　☎83-1616

ことばの教室

ことばの教室担当
馬場希代子
香川美恵子

開成小学校には、20年ほど前から「ことばの教室」があります。

小学生が対象で、「さかな」が「うまく発音できず「たかな」になってしまったり、話そうとすると言葉がつまって言いにくさがあったり、耳に聞こえにくさがあったりする子どもたちが、週に一度決められた時間にことばの教室へ来て学習をしています。

子どもの持っている力を伸ばせるように、教材や教具を工夫し、共に楽しみながら学習をしています。

子どもたちは、自分のできることが増えた時や、自分の成長を感じることができた時に、とても自信に満ちた素敵な笑顔になります。自信をつけた子どもたちは、やがてことばの教室を卒業していきます。ことばの教室は、これからも子どもたちのサポーターでありたいと思います。